

国道11号バイパス振動環境検討委員会

第2回委員会 議事概要

1. 日 時 平成26年11月28日(金) 13:00~16:00

2. 場 所 公民館

3. 出席者

〔委員長〕

日野 順市 徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授

〔委 員〕

鍋島 康之 明石工業高等専門学校 都市システム工学科 教授

星 鐵太郎 豊橋技術科学大学 名誉教授

山中 稔 香川大学 工学部 安全システム建設工学科 准教授

〔その他〕

精密部品製作企業

香川河川国道事務所

自治体

4. 議事内容

(1) 第1回委員会結果の確認等

①第1回委員会結果の確認、公表内容及び委員会規約の改正について

②第1回委員会が出された意見とその対応

(2) 追加調査の内容及び方法の確認

①加振調査

(3) 今後の検討内容と予定

(4) 意見交換

(5) その他

5. 審議結果

- ・第1回委員会の公表内容と、委員会規約の改正が承認された。
- ・委員会での意見を踏まえ、加振調査を実施して次回委員会に諮る。

6. 主な意見

■加振調査の方法について

- 加振試験の方法は、振動を段階的に大きくなるように加振する方法でよい。
- 加振試験の計測位置は、工場床で振動計測することで問題ない。
- ビビリが発生すると製品の表面に模様（光沢ムラ）ができるが、面粗度及び真円度には影響しないので計測ができない。
- 加振の影響を確認する方法として、製作機械のセンター部分（製品保持部分）の加速度を計測する方法がある。

■対策工の工法やその低減効果について

- どの様な振動が発生して、どの様な振動が精密部品工場に伝わっているのか、振動が製品精度にどう影響するかを明確にした上で、対策の検討をすべき。

■シミュレーション手法や入力条件について

- 対策工やシミュレーションの考え方を整理してフローで示してほしい。

以 上

今後の検討内容と予定

第1回委員会 (H26.9.18)

- 委員会規約の承認
- 精密部品工場の事業説明
- 振動対策工法の例
- 意見交換
- 国道11号バイパスの事業説明
- 既往調査結果の報告
- 工場見学



第2回委員会 (H26.11.28)

- 第1回委員会結果の確認等
- 今後の検討内容と予定
- 追加調査の内容及び方法の確認
- 意見交換



追加調査の実施



- 調査結果の確認
- 対策工の検討
- 解析・シミュレーション等の実施

